

学年のしめくくりの時期ですね。1年間元気に過ごせましたか？
さて、3月3日は耳の日です。今月は耳についてです。

子どもに多い耳の病気

急性中耳炎



どんな病気？

中耳に入り込んだ細菌やウイルスによって急性の炎症が起こり、膿がたまる病気です。カゼをひいたときに、鼻やのどの炎症に続いて起こることが多いです。

症状は？

- ・ズキズキとする激しい耳の痛み
- ・発熱
- ・耳だれ
- ・耳がつまった感じ など

注意点は？

途中で治療をやめると、滲出性中耳炎などに移行することも。最後まできちんと治療するのが大事です。



滲出性中耳炎



どんな病気？

鼓膜の奥の中耳腔という部屋に、液体が溜まる病気です。

症状は？

聞こえにくくなることが多いです。ただし、軽度だと気づくのが遅れることも。

- ・テレビのボリュームを上げたがる
- ・呼びかけても返事をしない

などが見られたら注意が必要です。強い痛みや発熱はあまり見られません。

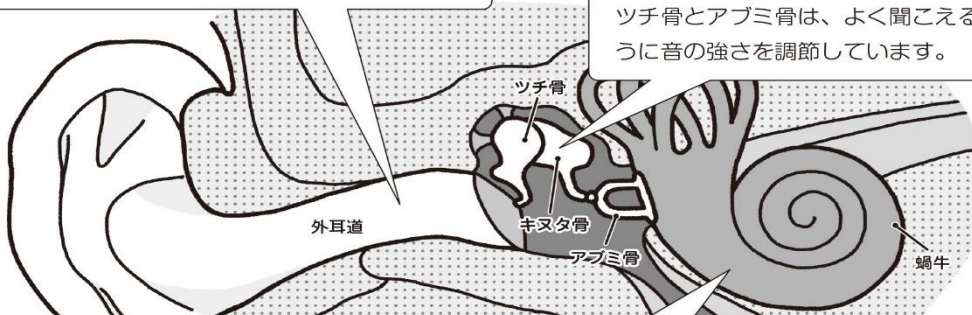
注意点は？

治療が不十分だったり、放置すると入院や手術が必要になることも。長期戦になるケースも多いですが、根気強く通院を続けてください。

耳に入った音が進む道は？

1 耳に入った音（空気の振動）は、長さ2～3cmの通路（外耳道）を通ってたどり着いた鼓膜を震わせます。

2 次に、鼓膜の向こうにつながっている、ツチ骨・キヌタ骨・アブミ骨の3つが連なる耳小骨に震えが伝わります。ツチ骨とアブミ骨は、よく聞こえるように音の強さを調節しています。



3 音の振動はアブミ骨にくっついたかぎゅう蝸牛に伝わります。「蝸牛」は「カタツムリ」とも読みます。蝸牛の中にあるコルチ器で振動は電気信号に変換され、脳に伝えられて「聞こえた」と感じるのです。